

日本骨髄バンクの現状（平成 23 年 2 月末現在）

	1 月	2 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2, 853	2, 545	379, 128	493, 517
患者登録者数	234	192	2, 873	32, 317
骨髄移植例数	94	101	-	12, 693

■20 歳未満のドナー登録者数

2 月 137 人
合計 14, 289 人（17 年 3 月～）

■51 歳以上のドナー登録者数

2 月新規 97 人
延長 260 人
合計 21, 837 人（17 年 9 月～）

■2 月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／1, 055 人、献血併行型集団登録会／1, 384 人、集団登録会／34 人、その他／72 人
注）数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 東北関東大震災への対応について

3 月 11 日（金）東北、関東を中心に東北関東大震災が発生しました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。財団におきましては、速やかに震災対策本部を設置し、コーディネートを中心に今後の方針を検討するとともに各地区事務局と連携し、対応を行っています。コーディネートの今後の方針につきましては、財団のホームページで随時掲載して参りますので、医師、コーディネーターの皆様のほか、関係者の皆様はご参照いただきますようお願い申し上げます。
※ホームページに掲載しました『東北関東大震災に関するコーディネートの対処方針について（第 1 報）』を同封しましたので、ご参照ください。

2 骨髄液等の凍結に関する今後の対処方針について

標記につきましては、マンスリーJMDPで都度、検討状況をお知らせしてまいりましたが、今後の対処方針が決定しましたのでご報告申し上げます。

医療委員会、ドナー安全委員会、倫理委員会そして常任理事会において、凍結における基準のあり方に関して審議されてきました。しかし、患者さんの状況は多様であり、現段階での基準策定は困難であるとされ、今後、個々の事例を積み重ねて基準策定を検討していくことになりました。具体的な審査と手続きは以下のとおりです。

■審査体制及び今後の対処方針

- ① 凍結の可否判断は医療委員会が実施する。
- ② 医療委員会の審査結果を危機管理担当医師（医療委員長除く）に報告し、常任理事会で事後評価を行う。
- ③ 事例を積み重ね、その情報を公開することにより出された意見を参考にしつつ、今後の基準を医療委員会で検討し、常任理事会で決定する。

■凍結申請可能な時期

主治医が移植日の延期が必要と判断したが、その日程に対して調整がつかない場合（具体的な延期の移植日程が明確であること）に、財団に審査を申請する。

■申請（審査）に必要な事項

- ① どうしても延期せざるを得ない理由
- ② 骨髄液が使われることの確実性
- ③ 前処置、移植の具体的なスケジュールとその理由
- ④ 患者さんへの説明内容

⑤ 万一使われなかった場合には、移植サイドで採取に関する費用を負担することの了解
今後、判断に迷われる場合や不明な点がございましたら、ご遠慮なく移植調整部までお問い合わせください。

3 骨髄液等の運搬について（運搬業者への委託について）

現在、骨髄液の運搬は移植施設（医師等）が運搬していますが、当財団では医師等の負担軽減や運搬の安全確保の観点から運搬専門業者への委託を検討してまいりました。その結果、常任理事会において、安全、確実に運んでいただくハンドキャリア（運搬専門業者の担当者が手持ちで運搬する）による運搬を導入する方針が確認されました。これにより、運搬者の選択肢が広がりますが、移植施設において、運搬専門業者に委託するかどうかを決定していただきます。骨髄液の他、末梢血幹細胞の運搬にも適用されることとなります。なお、手続き等の詳細は決定次第、改めて関係施設にお知らせします。

4 非血縁者間末梢血幹細胞移植診療科・採取施設の認定について

前月にご報告した後、以下の施設が新たに非血縁者間末梢血幹細胞移植診療科・採取施設となりました。これまでに認定された施設は 20 施設です。なお、これに加えて当面更に 5～6 施設のサイトビジットを予定しています。新規認定施設については、財団のホームページ「患者さんへ」の「移植認定病院」および「ドナー登録されている方へ」の「面談施設一覧」でもご覧いただけます。

◆非血縁者間末梢血幹細胞移植診療科・採取施設

【移植診療科】

医療法人社団 神鋼会 神鋼病院 血液内科

【採取施設】

医療法人社団 神鋼会 神鋼病院

5 新しいクリック募金

2 月から新しいクリック募金が始まりました。サイト名は「smile CLOVER」です。サイトを見た方が 1 日 1 回のクリックをすることで、サイトの運営会社である株式会社メディネットから 1 円が財団に寄付されます（アドレス ⇒ <http://www.clover.sc/> ドナーズネットのトップページからも入れます）。「dffクリック募金」と併せ、1 日 1 クリックのご協力をお願い致します。

※クリック募金サイト「募金箱」につきましては、現在、運営会社のシステムトラブルにより運用中止となっているため、ドナーズネットのバナーを削除しています。ご了承ください。

6 財団の会議開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に財団事務局総務部までお申し込みください。

	公開・非公開	開催予定
通常理事会・評議員会	公開・一部非公開	3 月 31 日（木）13:00～ 学術総合センター 1F 特別会議室
臨時理事会	非公開	4 月 8 日（金）13:00～ 廣瀬第 1 ビル 2 階会議室
常任理事会	公開・一部非公開	4 月 16 日（土）12:00～ 廣瀬第 1 ビル 2 階会議室



コーディネーター関係者のコーナー

ここからは、調整医師、採取施設、移植施設およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

7 「骨髄・末梢血幹細胞ドナー手帳」の使用について

このたび、日本造血細胞移植学会と共同で「骨髄・末梢血幹細胞ドナー手帳」（血縁、非血縁共通）を発行することとなりました。非血縁ドナーには、現行の「骨髄採取前にお願いしたいこと」に替わるものとして、「骨髄（末梢血幹細胞）採取施設並びに採取予定日のご案内」に同封してお送りします【※1】。これに伴い、前述の帳票の一部を変更します【※2】。

ドナー手帳の発行の目的と運用方法の詳細につきましては別紙をご覧ください（コーディネーターの方々にはブラッシュアップ研修会にて配布しました）。

なお、地区代表協力医師・採取責任医師・調整医師の先生方には、今号のマンスリーJMDPにドナー手帳（関係者用サンプル）を同封してお届けします。

【※1】非血縁ドナーへの発送開始時期

- ・骨髄ドナー：平成 23 年 4 月 1 日（金）送付分から
- *すでに「骨髄採取前にお願いしたいこと」を発送済みの方については差し替えの必要はありません。
- ・末梢血幹細胞ドナー：採取が決定した方から

【※2】「骨髄採取施設並びに採取予定日のご案内」の一部変更について

平成 23 年 4 月 1 日（金）から変更後の帳票が出力されます。変更点は以下のとおりです。

6 行目：また「骨髄採取前にお願いしたいこと」を同封しますので～

⇒ また「ドナー手帳」を同封しますので～

8 「造血幹細胞適合検索サービス」が新しくなります（さい帯血バンクとの共同検索）（医師の方へ）

患者さんのHLA型と適合するドナー登録者数を検索する「造血幹細胞適合検索サービス」は、3月22日より適合するさい帯血を同時に検索が出来る機能が追加されます。

共同検索の機能については、予めより医師のご要望をいただいております。この度、国からの依頼により日本赤十字社で共同検索のWEBサイトが構築されました。これにより両バンクの適合検索がより一層便利になると思われます。

詳細は URL：<http://search.bmdc.jrc.or.jp/web/pbcmp/> をご参照ください。

9 HLAデータの取り扱いに関するお知らせ（医師の方へ）

HLAデータに関して、3月10日の「骨髄バンク・さい帯血バンク合同報告会」においてご報告申し上げましたが、下記の2点について3月22日より変更になりますのでお知らせ致します。

●HLAアリの命名規則の変更について

WHO命名委員会では、2010年4月よりHLAアリの命名規則の変更することとし、これに伴い、日本骨髄バンクでのHLAアリ表記も以下のように変更されます。

例：旧) A*0201 → 新) A*02:01

適合検索結果報告書や確認検査結果報告書等でご不明な点がございましたら移植調整部までご連絡ください。

●HLA-DRB1*14:01の14:54への一斉変換について

この度、日本組織適合性学会より日本人において、HLA-DRB1*14:01とタイプされたDNA型のほぼ全てが、HLA-DRB1*14:54であることが報告されました（日本組織適合性学会HP参照）。これを受け、骨髄バンクで保持するDRB1*14:01のデータをDRB1*14:54に一斉変換します。これまで患者およびドナーでDRB1*14:01とタイプされたタイピング結果を、3月22日以降はDRB1*14:54に変更いたしますのでご了承ください。

なお、患者およびドナーのHLAタイピングデータを同時に一斉変換しますので、検索されるドナー数等適合する割合（確率）は、これまでと変わりません。

10 確認検査項目（梅毒）の検査方法変更について（医師の方へ）

検査試薬の変更に伴い、4月1日（金）の確認検査実施分から梅毒の検査方法が下記のとおり、変更になります。

		新	現
①	項目	梅毒定性 RPR (LA)	梅毒定性 RPR 法
	検査方法	ラテックス比濁法	凝集反応
	基準値	陰性	陰性
	検体量	0.5ml (血清)	0.3ml (血清)
②	項目	梅毒定性 TP 抗体 (LA)	梅毒定性 TPHA
	検査方法	ラテックス比濁法	PA
	基準値	陰性	陰性
	項目	0.5ml (血清)	0.3ml (血清)

11 地区代表協力医師会議報告（医師の方へ）

日本造血細胞移植学会総会の会期中の3月10日、「平成22年度地区代表協力医師会議」が行われました。現在、14名の地区代表協力医師の先生方が各地区におけるドナー適格性判定やコーディネート上の問題にご対応いただいています。本会議では、健康被害等発生時の体制や非血縁者間末梢血幹細胞移植・採取実施状況などについて、報告・意見交換が行われました。



12 委嘱状発行（更新）のお知らせ（調整医師の方へ）

本年 1 月に平成 23 年度の調整医師委嘱に関する書類をお送りしました。先生方には、ご多忙中にもかかわらず書類をご返送いただきありがとうございました。3 月下旬より、当財団の事務作業が完了次第順次、先生方に委嘱状をお送りします。今後とも骨髄バンク事業へご協力の程よろしくお祈りいたします。

13 G-CSF 投与歴の確認に関する問診票の追加と変更について（調整医師・コーディネーターの方へ）

末梢血幹細胞（以下PB）移植・採取の導入にあたり、PBSCTに関する委員会において、非血縁者間の造血幹細胞提供の回数は「PB提供は 1 回のみ（過去にG-CSF投与歴のあるドナーについても提供 1 回とみなす）、骨髄とPB提供を合わせて 2 回まで」とされました。これまでの骨髄コーディネートでは、ドナーの過去のG-CSF投与歴については確認してきませんでしたが、この決定に伴い、今後は全てのドナーに確認することとなりましたので、4 月 1 日より問診票を以下の通り追加・変更いたします。

なお、この運用については、事務局・コーディネーター宛に別途通知いたします

【現行】

12. 今までに骨髄提供または末梢血幹細胞提供をしたことがありますか。・・・ はい：いいえ
 「はい」の方・・・ 骨 髄：（ ）回、いつ頃（西暦 年 月）誰に（ ）
 末梢血幹細胞：（ ）回、いつ頃（西暦 年 月）誰に（ ）

【追加・変更後】

12. 今までに骨髄提供または末梢血幹細胞提供をしたことがありますか。・・・ はい：いいえ
 「はい」の方・・・ 骨 髄：（ ）回、いつ頃（ 年 月頃）誰に（血縁者・それ以外）
 末梢血幹細胞：（ ）回、いつ頃（ 年 月頃）誰に（血縁者・それ以外）
 [末梢血幹細胞採取に至らなくても、G-CSF（顆粒球コロニー刺激因子・薬名：グラン／ノイトロジンなど）の投与を受けたことがありますか。・・・はい：いいえ]

14 第 16 回コーディネーターブラッシュアップ研修会報告（コーディネーターの方へ）

3 月 10 日、11 日に松山市で「第 16 回コーディネーターブラッシュアップ研修会」が第 33 回日本造血細胞移植学会総会に併せて開催され、全国からコーディネーター 118 人、コーディネーションスタッフ 13 人、地区事務局中央事務局職員等 40 人が参加しました。

今年度のテーマ「末梢血幹細胞移植導入を踏まえ、よりよいコーディネートを目指す」に合わせてPBSCTに関する研修や、昨年 4 月より業務を開始したコーディネーションスタッフの活動報告、「フォローアップ行程におけるドナー対応の留意点」についてのグループ討議の他、学会プログラムや市民公開講座へ参加することにより造血細胞移植に関わるチームの一員としての認識を新たにしました。

東北関東大震災に関するコーディネートの対処方針について

(第1報)

このたびの東北関東大震災につきましては、被災された皆さまおよび関係者の方々に心よりお見舞い申し上げます。

このような事態の中で、当財団としましては、進行中および今後のコーディネートについて、以下のように対応することといたします。

今後もホームページに状況を掲載してまいりますので、随時ご確認ください。

1. 採取予定ドナーの安否

3月18日までに全国で骨髄採取予定のドナー42名については安否が確認できております（東北地区のお一人を除き、全員ご無事でした）。

3月22日から3月31日までの全国の骨髄採取予定ドナーについては、現在、安否を確認中です。

4月以降については順次確認してまいります。

2. 最終同意、術前健診、自己血採血

岩手県、宮城県、福島県のドナーの方については当面すべて延期します。

青森県、秋田県、山形県については可能な場合には進めます。

関東地区については、交通事情等により延期する場合があります。

他地区は通常どおり実施します。

3. 確認検査について

東北地方については、岩手県、宮城県、福島県のドナーの方は当面すべて延期します。青森県、秋田県、山形県については可能な場合には進めます。

関東地区は、実施日の2日前までの交通事情により延期する場合があります。

他地区は通常通り実施します。

※ 関東エリアの停電および交通事情により、エスアールエルへの検査予約は日程の余裕を持ってお願いします。

4. 新規コーディネート

関東地区の停電および交通事情により、全国の新たな患者登録・ドナー検索は一旦見合わせます。状況を確認し、可能な場合は随時再開します。ただし、岩手県、宮城県、福島県については、当面、見合わせます。

5. その他

①上記に関わらず、今回の災害に関連した緊急コーディネートの要請があった場合は、可能な限り別途緊急対応いたします。

②検体保存事業の採血については、当面、見合わせることにします。